

大阪府条例第二十七号

大阪府旅券法関係事務に係る事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

第一条 大阪府旅券法関係事務に係る事務処理の特例に関する条例（平成二十四年大阪府条例第三号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（市町村が処理する事務の範囲等） 第二条 法及び令に基づく事務のうち、次に掲げる事務（規則で定める場合に係るものを除く。）であつて、府の区域内に存する市（大阪市、岸和田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、高石市、泉南市及び阪南市を除く。）、町（島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町及び岬町を除く。）及び村の区域に係るものは、それぞれ当該市、町又は村が処理することとする。</p> <p>一一十三（略）</p>	<p>（市町村が処理する事務の範囲等） 第二条 法及び令に基づく事務のうち、次に掲げる事務（規則で定める場合に係るものを除く。）であつて、堺市、豊中市、池田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、箕面市、羽曳野市、門真市、摂津市、東大阪市及び大阪狭山市の区域に係るものは、当該市が処理することとする。</p> <p>一一十三（略）</p>

第二条 大阪府旅券法関係事務に係る事務処理の特例に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（市町村が処理する事務の範囲等） 第二条 法及び令に基づく事務のうち、次に掲げる事務（規則で定める場合に係るものを除く。）であつて、府の区域内に存する市（大阪市、岸和田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、高石市、泉南市及び阪南市を除く。）、町（豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町及び岬町を除く。）及び村の区域に係るものは、それぞれ当該市、町又は村が処理することとする。</p> <p>一一十三（略）</p>	<p>（市町村が処理する事務の範囲等） 第二条 法及び令に基づく事務のうち、次に掲げる事務（規則で定める場合に係るものを除く。）であつて、府の区域内に存する市（大阪市、岸和田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、高石市、泉南市及び阪南市を除く。）、町（島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町及び岬町を除く。）及び村の区域に係るものは、それぞれ当該市、町又は村が処理することとする。</p> <p>一一十三（略）</p>

附 則

この条例中第一条の規定は平成二十六年十月一日から、第二条の規定は平成二十七年一月五日から施行する。